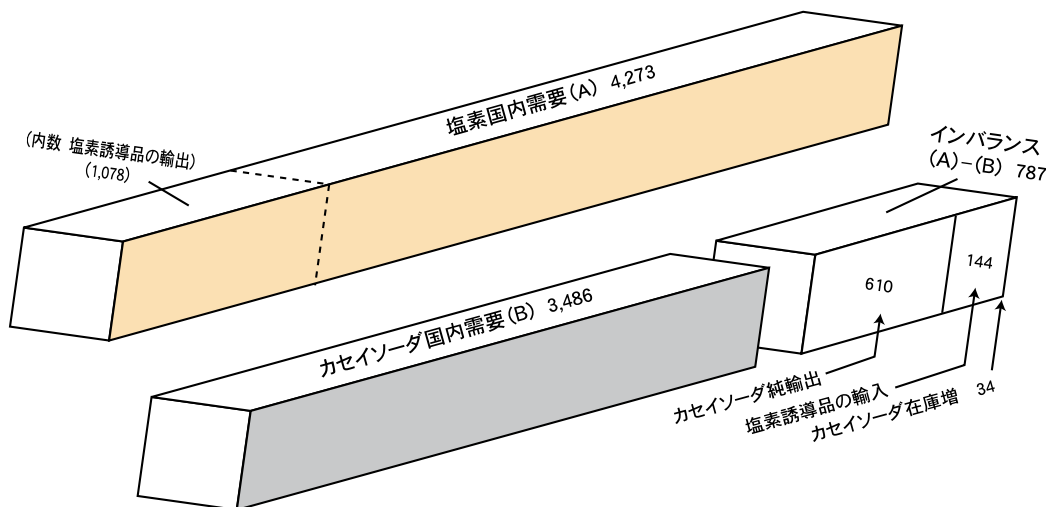


カセイソーダ・塩素のインバランスと塩素の輸出入 (2008年度)

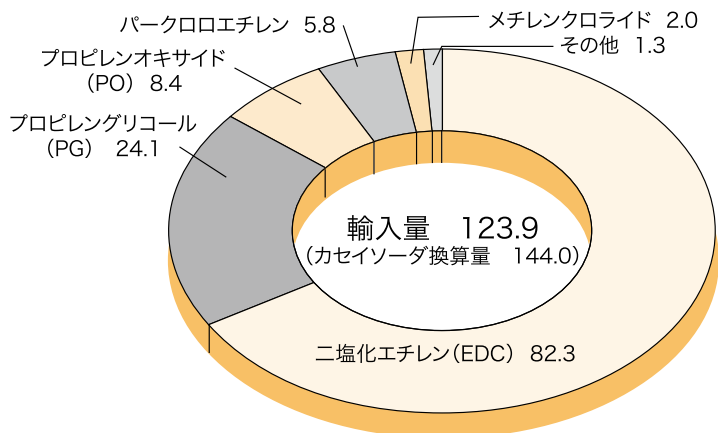
カセイソーダ・塩素のインバランス (単位：千トン/カセイソーダ換算量)



注) インバランス 787 = 塩素国内需要 4,273 - カセイソーダ国内需要 3,486
 = カセイソーダ純輸出 (輸出 - 輸入) 610 + 塩素誘導品輸入 144 + カセイソーダ在庫増 34
 (単位未満四捨五入のため不整合の部分がある)

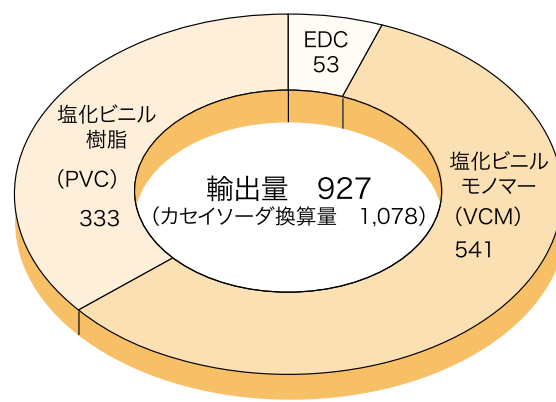
塩素誘導品の輸入

(単位：千トン/塩素換算量)



塩素誘導品の輸出

(単位：千トン/塩素換算量)



注1) 塩素の輸出货量 927千トンは、EDC、VCM、PVCの輸出货量に推定塩素原単位を乗じて算出。
 注2) 輸出货量のEDCは財務省貿易統計、VCM、PVCは塩ビ工業・環境協会統計による。

カセイソーダと塩素の国内需要の差をインバランスと呼んでいます。1965年(昭和40年)を境に、塩素需要がカセイソーダ需要を上回り、現在まで続いています。

電解ソーダ工業では、カセイソーダと塩素という、全く性質の違う製品が同時に、一定の比率で製造されます。製造比率と需要比率が同じであれば問題はないのですが、実際は、カセイソーダ1に対して塩素が約0.9の割合で製造されるのに対して、需要は逆に、カセイソーダが1に対して、塩素が約1.2と2割程多くなっています。

塩素需要に合わせて操業すると、カセイソーダが余剰になり、逆に、カセイソーダ需要に合わせて操業すると、

塩素が不足することになります。

2008年度のインバランス量は、カセイソーダ換算で、国内塩素需要量4,273千トンから国内カセイソーダ需要量3,486千トンを差し引いた787千トンとなります。

このインバランスを解消するため、カセイソーダを輸出し、不足する塩素を輸入しています。輸入される塩素は塩素誘導品で、多くが塩化ビニル樹脂原料のEDCです。

一方で、塩素は、EDC(二塩化エチレン)の他、同じく塩化ビニルの原料であるVCM(塩ビモノマー)、PVC(塩ビ樹脂)として輸出されます。塩素換算で927千トンになり、塩化ビニル向け塩素需要の、約半分になります。